学校番号	3032B

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　新地理総合」（帝国書院） 「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「高等学校　新地理総合ノート」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界や日本の地理・地誌について基本的な知識を修得してください。
・各自の身近な出来事や環境と地理的な事象を関連付けて考察するようにしましょう。
・地理的な観点から現代の諸諸題について考える機会を設けます。情報を適切に読み取り、まとめ、発信できる力を付けてください。

2　学習の到達目標

・世界や日本の地理・地誌に関する基本的な用語や基礎知識について理解する。
・地図・資料・写真等を読み取ることや、情報を自分なりにまとめて発信する力を身に着ける。
・地理的な観点から社会的事象について考える力を涵養する。また、現代の諸課題や身近な課題について地理的な事象と結びつけ考察することができる。
・学習した内容や思考法を生かし、より良い社会の実現を見据え、課題を主体的に解決しようとする態度を身に着けている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球規模で生じている課題への取組みを理解する。 技能：地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念を活用して多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察したことを説明したり、それらを基に議論する力を養う。	地理に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野に、課題を主体的に解決しようとする態度を養う。また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

前期	地図でとらえる現代世界	地図上の位置と時差 地図の役割と種類	a:地球上での位置、太陽高度の変化、緯度経度のしくみ、時差の計算について理解できたか。世界地図の主な図法と利用について理解できたか。国家の領域に関する知識を身につけ、日本の領土問題について歴史的背景と空間的広がりを理解できたか。統計資料から分布や変化などの特徴を見出す技能を身につけたか。GIS の特徴や利用方法、そのしくみについて理解したか。地理院地図などインターネット上の GIS の機能を利用し、地理空間情報を活用できたか。 b:球体としての地球の観点から、図を活用して地球上の位置や時差のしくみを捉え、説明できたか。世界地図を図法の違いにより使い分けることができたか。日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察できたか。複数の統計地図を結びつけ、世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明できたか。 身近な地図について、目的により表現方法に違いがあることが判断できたか。紙の地形図と電子地図の用途や活用について、地図の有用性の観点からそれぞれの長所を考察できたか。 c: 球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し、作業や考察に取り組むことができたか。様々な世界地図の違いに関心を持ち、資料から様々な世界地図の存在に気づくことができたか。統計資料を意欲的に読み取り、それを表現できたか。身の回りの地図に興味を持ち、意欲的に地図の知識を活用できたか。GIS の作業に意欲的に取り組み、GIS で作成した地図から地域の特徴を分析しようとしたか。	定期考査	定期考査 ワークシート	学習状況の観察

	国際理解と国際協力	世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活	a: 地形の知識を身につけ、世界的視野から地形分布の特徴を捉えることができたか。地形図から等高線や地図記号などを判読し、地形の特徴や土地利用を捉えることができたか。大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみを理解できたか。 各気候の分布の特徴を理解できたか。雨温図や写真から情報を抽出し、各気候と植生の対応や、それらが関連した人々の生活の特徴を読み取れたか。世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観できたか。主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の産業の分布と発達を捉えることができたか。世界の多様性を理解し、異文化を尊重する姿勢を理解したか。主題図などから世界の宗教の分布と特徴を捉えることができたか。 b:世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ、世界の地形配置と比較しながら考察できたか。生活地域の地形の特徴について、写真などから捉え、人間生活との関連を考察できたか。世界規模の大気のしくみが人間生活に影響していることを資料をもとに考察できたか。気候の分布の規則性を気候区分図をもとに考察できたか。資料から各気候により景観が異なることを捉え、農業や生活への影響を考察できたか。自然環境が産業の形成に関わっていることを資料をもとに考察できたか。世界の産業の変化をグローバル化の観点で考察できたか。生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できたか。 c: 地形図や分布図、写真等の読み取りに意欲的に取り組んだか。地形図を用いた作業に意欲的に取り組み、地形と人間生活とのつながりを捉えようとしたか。産業が発達し続けていることを、時事的話題とともに意欲的に捉えようとしたか。 世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	学習状況の観察
	国際理解と国際協力	東南アジア オセアニア 中央アジア・西アジア・北アフリカ インド ラテンアメリカ 南アフリカ ロシア アメリカ合衆国 東アジア ヨーロッパ	a:図版や写真から各地域や各国(東南アジア・オセアニア・中央アジア・西アジア・北アフリカ・インド・ラテンアメリカ・南アフリカ・ロシア・アメリカ合衆国・東アジア・ヨーロッパ)の地理的特徴や諸課題について捉えることができているか。また各地域や課題を整理できているか。 b:各地域や各国の諸課題について、地理的な観点から考察できているか。また、考察をもとに各々でワークシートに自分の意見などを表現することができているか。 c:各地域や各国の地理的環境や状況について意欲的に探究することができたか。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	学習状況の観察

後期	地球的課題と国際協力	地球環境問題 資源エネルギー問題 人口問題 食料問題 都市・居住問題	a:持続可能な社会を目指すSDGsの目標と趣旨を理解できたか。国際機関のウェブサイトや主題図、統計資料などから、環境問題の現状や原因を情報収集できたか。限りある資源の問題を解決するためのリサイクルや再生可能エネルギーのしくみを理解できたか。世界人口の増加で生じる問題を世界的視野から理解し、人口増加地域と人口停滞地域における人口問題の違いを整理できたか。世界の視野で都市人口率の増加を捉え、都市内部の視野で景観や場所による役割の違いをふまえて都市の構造を理解できたか。 b:世界のどこで、どのような地球環境問題が生じているのかを資料をもとにまとめ、持続可能な社会の実現に向けた提案ができたか。主題図などをもとに鉱物資源とエネルギー資源の分布と今後の将来需要を予測し、SDGsの目標をふまえ今後必要な鉱物やエネルギーの利用について提案できたか。世界の人口問題の現状を資料を比較しながらまとめ、日本の人口問題についての提言を他国と比較しながら考察できたか。都市への人口集中を主題図やグラフから捉え、都市と農村の景観を比較しながら考察できたか。 c: 地球環境問題のしくみや原因の理解とともに、地球市民の一人として、それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に探究し、どのような行動ができるかを追究できたか。日常利用されている鉱物資源やエネルギー資源を調べ、その輸入先やリサイクルなどの現状を意欲的に探究し、持続可能な利用について追究できたか。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	学習状況の観察

	持続可能な地域づくりと私たち	自然環境と防災	a:地域的な課題について調査法を身につけることができたか。資料を集め、それを図にまとめ表現する方法をが身についたか。日本の自然環境の特徴と生活文化との関わりを理解できたか。日本列島における自然災害について具体的事例を通じて、災害のしくみや特徴、地域性、防災への取り組み方や課題を理解できたか。地形図やハザードマップを活用し、防災時の技能を身につけることができたか。 b:日本の自然環境と生活との関わりを主題図等から考察できたか。日本の自然環境の特徴を反映した自然災害が発生してきたことを資料から読み取り、それをふまえて自然災害時の対策を考察できたか。調査で得られた結果を、主題図や表などに整理できたか。 c:自然環境の特徴と自然災害とのつながりを意欲的に探究し、過去の災害事例を調べることができたか。GIS などを活用し、自然災害への対策を意欲的に探究できたか。災害発生時の自助・共助・公助をふまえ、身近な地域で発生が予想される場面を想定して、意欲的に対策を検討できたか。身近な地域に様々な課題があることを見出し、意欲的に資料(主題図等)を作成し共有できたか。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	学習状況の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度